

しぜんかがく じゆうけんきゆう てびき 自然科学 自由研究の手引き

野田市立山崎小学校

1、作品には次の3種類があります。

科学論文……………研究する学習課題に沿って実験や観察をし、その結果を
原稿用紙やノートなどに記録してまとめたもの。

科学工夫工作……………学習や遊びの道具などを工夫して作ったもの。

標本……………昆虫や植物、岩石などを集めて整理したもの。

2、科学論文の進め方

○ 問題を見つける

問題の見つけ方は、次の2つの方法があります。

- ① 「ふしぎだな。」「なぜなんだろう。」と思ったことから選ぶ方法
- ② 学校の勉強をもっとくわしく調べる方法

① の例) おやつにケーキを食べようと思い、テーブルに置いておいたら、ハエがたかっています。

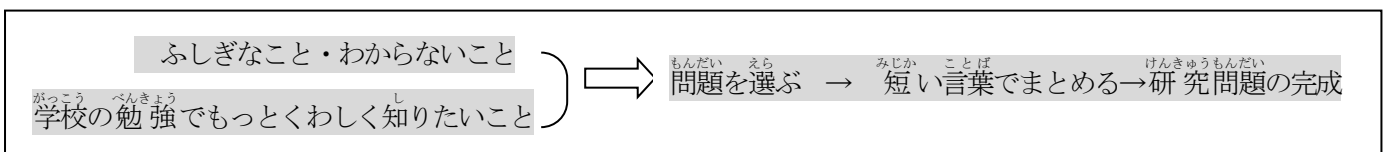
「ハエは、いつも何を食べているのかな」「ハエにもオス・メスがあるのかな」

「どのようにして大人のハエになるのかな」「ハエはどこに卵を産むのだろう」

「ハエにも好きな食べ物や苦手な食べ物があるのかな」

というふうに、普段の生活の中にもいろいろな「ふしぎだな」「なぜだろう?」と思う問題が隠れています。

それを研究問題にしてみましょう。



研究問題ができたなら、研究の動機(どうしてこの研究をしようと思ったのか)や研究の目的

(何のためにこの研究をするのか)をノートに書いておきましょう。研究をまとめる際に使います。

○ 研究の計画を立てる

問題ができたらず想を立て、どんな方法で調べていくか計画を立てます。

つまり、どんな実験をやるのか、どんな道具を使うのか、何日ぐらい観察するのか…などを決めます。

計画を立てられたら、道具をそろえて実験を始めましょう。(記録用のノートは必ず作りましょう。)

予想を立てる → 実験・観察の方法を考える → 道具をそろえる。

○ 記録をつける (実験結果)

実験結果は、事実だけを書きます。(事実と自分の考えは、分けて記録しましょう。)

自分の考えは、次の「考察・まとめ」に書くようにしましょう。

文や図、表、グラフなどを書くようにし、写真も撮っておきましょう。

○ 考察・まとめ

実験結果を見て、どんな考えをもったか、
どんなことが分かったか、
分からなかったかを考えてノート
に書き込みます。

実験をする中で、新たな疑問が出てくることもあるでしょう。その時には、また新たな実験をして

「実験→考察→新たな疑問→実験→考察→新たな疑問→実験・・・」のように、どんどん学びを深めて
いきましょう。

○ 研究の反省

研究の問題・計画・進め方・まとめ方がうまくできたか、改善点はないか、今後どうしていきたいか、

実験を通して感じたことや思ったこと・・・などを考えて書きます。

○ 参考図書

参考にした本などがあれば、その本の名前を必ず書きましょう。

実験結果 → 考察・まとめ → 研究の反省 → 参考にした本を書く

かがくろんぶん か かた れい 科学論文の書き方の例

まとめ方は、だいたい次のようになっています。(これは、あくまで一例なので、異なる形式でも全く問題ありません。)

だいいい 題名	○ ○ ○小学校 ○年○組 名前 ○○ ○○○
1、研究の動機 けんきゅう どうき	けんきゅう はじ か 研究を始めたわけを書く
2、研究の目的(ねらい) けんきゅう もくてき	なん のために、このけんきゅう をしたのかを書く
3、研究内容 けんきゅうないよう	どんなじっけん けんきゅう をしたのかを書く
4、結果 けっか	え ず しやしん ひょう つか お 絵や図や写真、表やグラフなどを使って分かりやすく書く
5、まとめ	けっか からどんなことがかんがえられ、どんなことがわかったかを書く (小学校段階では、考察とまとめの区別が難しいので、このように二つをまとめて書いても良い)
6、反省・感想 はんせい かんそう	けんきゅう もんたい けいかく すすめかた かた かいぜんてん 研究の問題・計画・進め方・まとめ方がうまくできたか、改善点はないか、今後どうして いきたいか、実験を通して感じたことや思ったこと・・・などをかんがえて書きます。
7、参考図書 さんこうとしょ	参考にした本がある際には、必ず記載しましょう。

このような形式で、原稿用紙やノートなどにまとめます。

※論文および表紙の大きさは、B3判(364mm×515mm 四つ切り画用紙大)の範囲まで認められています。

※図表・パネルは、模造紙大以内の大きさです。

※何年も継続して研究をしている場合、昨年度までの研究について論文の冒頭に2、3ページ程度でまとめます。

※キャラクターグッズ等のコピーをしたもの(著作権法に触れるもの)は出品できません。(チーバ君を含む)

(自然科学作品展 実施要項より抜粋)

じゅひ (木の皮) の役目

○ ○ ○小学校 ○年○組
なまえ ○○ ○○○

1、研究の動機

池の近くで、木が折れていた。見ると、その枝の先の方には花が咲いていた。

他の枝とあまり変わりがない。なぜだろうと思ってよく見ると、枝は折れているが木の皮で何とかつながっていた。

ふしぎだなあと思っていたので、夏休みに調べてみることにした。

2、研究内容

(実験 1) ねらい 木の皮をむいたものとむかないものでは水の吸い上げ方に違いがあるかを調べる。

・材料

枝 2本 ⇒ 種類と大きさが同じくらいのもの

油 少々 ⇒ ビンの中の水が蒸発しないように

牛乳ビン 2本 ⇒ 枝をさすため

牛乳ビンに目盛りをうつ ⇒ 水の減り方を調べるため

・やり方

日光があまり当たらないところに置く。枝は一方は皮をむき、2枚残しておく。

もう一方は皮をむかないで、葉を2枚残す。

ビンに目盛りをうち、水を入れ、最後に油を両方のビンに同じ量だけ入れる。

ず しゃしん 図や写真

・予想 (省略)

・結果 (省略)

(実験 2) ねらい 皮をはいだところから水が蒸発するかどうか。

・材料

枝、ビニール袋、輪ゴム

・やり方

ビニール袋で皮をおおい、輪ゴムでとめる。葉はとりのぞく。

ず しゃしん
図や写真

・予想 (省略)

・結果 (省略)

(実験 3) (省略)

(実験 4) (省略)

3、まとめ (省略)

4、反省 (省略)

5、参考図書 (省略)

3、科学工夫工作 の進め方

何もないところから新しいものを作り出すことは、大変むずかしいことです。何か手がかりになるものやきっかけになるものがあると、そこからいろいろと考えてアイデアが浮かんでくることもあるでしょう。

図書館や図書室には、参考になる本がありますから、ぜひ見に行ってみましょう。

○まずは、ためし作り

最初から全部を作る必要はありません。自分が工夫したところ、つまり、仕組みのところだけでもいいです。

そして、自分で考えたようにうまく動くかどうかを確かめます。

○図面を書き、材料を集めましょう

仕組みがうまくいったら、図面を書きます。図面は、上から・前から・横からの3枚があると尚良いでしょう。

図面を書いているうちにアイデアが浮かんだり、作品の大きさや必要な材料が分かってくるものです。

簡単な図面で良いので、必ず書くようにしましょう。

○できるだけ丈夫に作りましょう

作品を学校に持ってくる際や、学校から審査会場に運ぶ際に壊れてしまわないように、できるだけ丈夫に作りましょう。たとえば、電気を利用したものを作るなら、導線と導線はきちんとつながないととれてしまうかもしれません。板を組み立てて作るなら、ボンドをつけてからくぎを打つようにするとじょうぶになります。

○完成！うまく動くかも一度確かめる

よく動いて、何度も使えれば完成です。（電池を使うものは、電池を添えて動くようにして提出しましょう）

- 科学工夫工作のテーマ……過去の入賞作品から
- 花の自動水やりシステム ・ たまらないと開かない貯金箱 ・ 雨降り予報ガエル ・ めだかの性別調べ器
- 便利なマヨネーズ容器 ・ 金魚の水替えを簡単にする仕組み

4、標本作り

テーマを決め、計画を立ててから採集して、むだに生物を殺さないようにしましょう。

* 標本作りのポイント

- 1、参考書を活用して、正しい標本作りの技能を身に付けましょう。
- 2、よく、かんそうさせましょう。
- 3、ラベルを必ず付けましょう。（採集日、採集場所、採集したものの和名）
- 4、しっかりした標本箱に保存し、防虫・防カビに心がけましょう。

* 標本ができたなら、わかったことや感想を書いて作品に添えましょう。

* 標本については、市の自然科学作品展のみの扱いで、千葉県児童・生徒科学作品展の出品はありません。